

きほく人奮闘記



やまうち しょうへい
山内 翔平 さん

就職活動中だった山内翔平さんが、偶然テレビで見かけた「林業女子」。元々体を動かすことが好きだった山内さんは、自身より一回りも二回りも小さな女性たちが、山と真剣に向き合いながら楽しそうに作業する姿に感化され、林業の道へ進むことを決心しました。

「自分が思ったとおりに木が倒せたときは嬉しい」と、その魅力を話す山内さん。「初めて直径70cmもの大きな

楠を伐倒することができた日のことは今でも忘れることができない」と、感慨深そうに話していました。

簡単な作業でも大きなケガを伴うことがある林業という仕事。山内さんは常に細心の注意を払いながら作業を行うことを心がけています。「気をはり体を動かし続け心身ともに疲れ切った中、自然に囲まれながら仲間と食べるお弁当は大絶品。疲れが吹っ飛ぶ」と、嬉しそうな表情を浮かべていました。

「ただ木を切るだけではなく、木の良さや林業という仕事についてPRすることが自分の役目」。この仕事を始めて5年目を迎える山内さんはそう感じています。そこで自分にできることを模索した結果、鬼北町産のヒノキを使って積み木を作ることで、木の素晴らしさを伝えることができるのではないかと考えた山内さん。現在、仕事の合間を縫って試行錯誤しながら、木の良さを最大限に生かした積み木作りに励んでいます。

さらに、「次世代の林業の担い手となる今の子どもたちに少しでも林業に興味を持ってもらえるよう、林業教室を開くことが夢」と山内さんは話します。「将来の職業選択肢の一つとして林業を選んでもらいたい」鬼北町の林業発展に全力を注ぐ山内さんの熱い思いは、子どもたちの心にきっと届くことでしょう。

鬼王丸のほのぼの日記

作 榎形 浩人
絵 にのみや なつみ



人口と 3/31現在

世帯数

人口	10,772人
男性	5,034人
女性	5,738人
世帯数	5,124世帯

※外国人住民を含みます。



▼満開の桜が咲き誇った「成川溪谷桜まつり」。心地よい陽気の中、お花見を楽しむ人たちの姿があちらこちらで見られました。そのほのぼのとした光景にシャッターを切る手も嬉しくなりました。

▼可愛らしいおひなさまが町並みを彩った「四万十街道ひなまつり」。町を歩くと、至るところで趣向を凝らしたおひなさまが出迎えてくれ、私自身とても癒されました。

編集後記